

R(あ〜る)かわにし vol.50

編集・発行／
川西市美化衛生部 美化推進課
〒666-0152
川西市丸山台3丁目43番地
電話:072-744-1124
FAX:072-744-1221

ごみの減量が進み、ごみ袋の有料化は見送りに

●「指定ごみ袋有料化について考えるタウンミーティング」を開催

市では、令和6年3月に策定した市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ減量目標達成のため、燃やすごみの「指定ごみ袋による有料化」を検討してきました。

ごみ減量化の取り組みは、市民生活に大きな影響があることから、検討にあたっては、市民の皆さまとの意見交換の場が重要であると考え、「指定ごみ袋有料化について考えるタウンミーティング」を開催しました。

このタウンミーティングは、令和6年11月23日から12月15日まで、市内13会場で開催し、延べ257人の方にご参加いただきました。

市の考える指定ごみ袋有料化については、賛否それぞれの立場から発言をいただくとともに、仮に実施するにしても、指定ごみ袋の値段や購入場所など利便性向上のご提案や、不法投棄対策を求める声などがありました。



＜タウンミーティングの様子＞

●現在、ごみ排出量は減少傾向。有料化は今後のごみ排出状況で判断します

約1年の検討の結果、当初見込みよりごみの減量が進んでおり、現在の減少傾向が続けば、令和13年度の減量目標を達成できる見込みとなったため、令和8年度の有料化の実施を見送ることとしました。

今後、市民や事業者の皆さまとともにさらなる減量化の取り組みを進めていくと同時に、1人1日当たりごみ排出量が増加または横ばい傾向になり、基本計画の目標達成が困難な状況になった場合には、指定ごみ袋による有料化の実施に向けた取り組みを進めることといたしました。

指定ごみ袋による
有料化についての市HP



●今後の方針について

- 現在、市民1人1日当たりごみ排出量は減少傾向にあるため、令和8年度の実施は見送ります
- 基本計画のごみ減量目標値の達成状況を毎年度検証します
- 基本計画は、本市のごみ排出状況やごみ減量の推移、国の動向や廃棄物行政をめぐる諸状況の変化を踏まえ、必要に応じて中間年度である令和9年度に見直します
- 計画に基づく減量・再資源化施策に取り組んだ上でも、1人1日当たりごみ排出量が増加や横ばい傾向になり、基本計画の目標達成が困難な状況になった場合には、指定ごみ袋による有料化の実施に向けた取組みを進めます

大型ごみ処理手数料 電子決済をスタート

令和6年12月から、大型ごみ収集の予約をインターネットで申込みする際の支払方法として電子決済が利用できるようになりました。

電子決済を選択した場合、大型ごみ処理券を取扱店で事前購入する必要がありません。

支払い方法は、クレジットカード（Visa, Mastercard, JCB, American Express, Diners Club）又は、QRコード決済（PayPay）が利用できます。（令和7年3月時点）

予約から排出までの流れ

- 1、インターネット予約時に電子決済を選択。
- 2、①収集日、②受付番号、③手数料(金額)の3点を紙などに記入し、全ての品目に貼り付け。
※特に雨天の日は紙が剥がれないように気をつけてください
- 3、収集予約日の当日午前8時30分までに、予約時に決めた場所に排出。

※ご注意

- 2の貼付が確認できない場合は収集できません
- 申込みの際は、品目や数量を事前に十分確認してください
- 予約完了後に、金額変更を伴う申込内容の変更は上限2回まで



任意用紙に
必要事項を
書いて貼る！

収集日

① __ 月 __ 日

受付番号

② ○ ○ ○ ○ (4ケタ)

手数料金額

③ 300円～900円



大型ごみ排出方法について

処理手数料

40cm～1.0m未満	300円(300円処理券×1枚)
1.0m～2.0m未満	600円(300円処理券×2枚)
2.0m以上	900円(300円処理券×3枚)

出せないごみ

- 家電リサイクル対象品(エアコン、テレビ、洗濯機、衣類乾燥機、冷蔵庫、冷凍庫)
- パソコンリサイクル対象品
- 市で収集できないごみや事業系のごみ

予約方法

- ①電話で予約（月～金曜日 祝日含む
午前8時30分～午後4時）

TEL:072-764-5379

- ②インターネットで予約

URL:

<https://s-kantan.com/oogata-kawanishi-u/>

- ③ファクスで予約

FAX:072-764-5399



注意 廃家電や大型ごみなど、廃棄物の処理に「無許可」の回収業者を利用しないでください。

令和6年10月開催の川西市環境フェスタにブース出展

ごみ減量チャレンジ・モニターの皆さんが中心になり、子どもたちがエコな体験をできるブースを出展しました。

「分別クイズ・子ども部屋を片付けよう!!」では、子どもたちがお部屋を片付ける体験から、ごみの分別を学び、ものを大切にする気持ちを育みました。

「エコバッグ・スリッパづくり」では、新聞紙でオリジナルのバッグやスリッパづくりを楽しみました。



分別クイズ



エコバッグ・スリッパづくり

燃やすごみにはまだまだ分別・削減できるものがいっぱい

分別の状況を把握するため、組成分析を実施しています。令和3年度の調査では、資源物等で19.2%、食品ロスが7.99%含まれており、分別や削減ができるものが混ざっていました。

分別の徹底とごみの削減にご協力をお願いします。

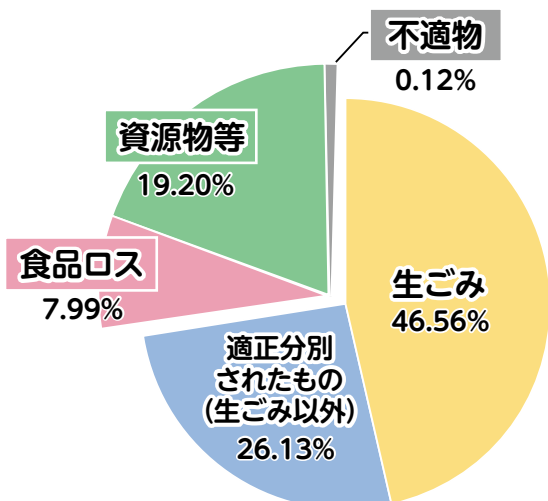
資源物等 リサイクルできる容器包装や紙類



食品ロス 野菜くずや食べ残し、未開封で賞味期限切れのもの



適正な分別にご協力ください



令和3年度の燃やすごみ組成分析結果

詳しい分別方法はこちらの市HPへ↓



令和6年度 食品ロス削減川柳(標語)

結果発表

優秀賞

今日のロス
アレンジ次第で
明日メイン
中学生の部
東谷中学校2年
中本 虹さん

優秀賞

皮も葉も
丸ごと食べよう
旬野菜
小学生の部
北陵小学校4年
原田 菜由佳さん

最優秀賞

我が家では
最初にチェック
おつとめ品
川西北陵高等学校2年
櫻井 優悟さん

優秀賞

フードロス
食べると捨てない
二刀流
一般の部
川尻 麻美さん

優秀賞

あなたから
未来のために
手前取り
高校生の部
川西北陵高等学校2年
澤 朋華さん

「食品ロス削減川柳コンテスト」に小中学生をはじめ、合計236人の皆さんから509作品のご応募をいただきました。

その中で、最優秀賞と優秀賞に選ばれました4作品をご紹介します。

食べきれない食品を必要としている人に

民間企業と協力して福祉団体などに寄付

市と株式会社ダイエー、株式会社光洋、川西市社会福祉協議会が連携し、食品ロス削減のために、フードドライブを実施しています。

イオンフードスタイル川西店（多田桜木）とKOHYO川西店（小花）では、食品回収用 BOX を常時設置しています。

提供された食品は、市社会福祉協議会を通じて子ども食堂など必要なところへ配布されます。ご家庭で食べきれない食品は、回収 BOX へ入れてください。

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている団体や施設などに寄付する活動です。

寄附できる食品の基準

次の①～⑥をすべて満たす缶詰やレトルト食品、インスタント食品、調味料など。

- ① 外装が破損しておらず未開封
- ② 賞味期限が1カ月以上残っている
- ③ 常温保存
- ④ 製造者または販売者が表示されている
- ⑤ 成分またはアレルギー表示がある
- ⑥ アルコール類（みりん・料理酒は除く）や手作りの品ではない



イオンフードスタイル川西店



KOHYO川西店

フードドライブの稼働状況

- ① 配布しているこども食堂 11か所
- ② 寄付の量 1ヶ月あたり約60kg